

平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会資料

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔 栃木県 〕

1 拠点校及び連携校

区 分	学 校 名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	益子町立益子中学校	14（2）	387
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	益子町立益子小学校	14（2）	318
	益子町立益子西小学校	14（2）	347
		（ ）	
		（ ）	

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

2 意識調査（アンケート共通項目）（％）

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数（人）	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	402	72.9	22.6	4.0	0.5	73.9	22.1	3.8	0.2	50.7	43.8	5.0	0.5	38.6	51.5	8.4	1.5
		前年②	399	72.7	22.1	4.5	0.8	73.4	23.8	1.8	1.0	39.6	51.9	7.8	0.8	30.8	57.4	11.0	0.8
		本年①	374	65.5	30.2	3.5	0.8	69.3	26.2	4.3	0.3	45.2	46.5	7.2	1.1	38.5	52.4	8.8	0.3
	3	中2①	143	79.0	19.6	1.4	0.0	80.4	17.5	4.0	0.7	48.3	46.2	4.1	1.4	30.1	61.5	7.0	0.4
		中2②	141	73.0	19.9	6.4	0.7	75.9	20.6	1.4	2.1	39.7	51.8	6.4	2.1	25.5	58.9	14.9	0.7
		中3①	143	65.0	31.5	2.1	1.4	69.9	26.6	3.5	0.0	43.4	47.6	7.7	1.4	24.5	63.6	11.2	0.7
	2	中1①	132	79.5	18.9	1.6	0.0	78.0	20.5	1.5	0.0	61.4	35.6	3.0	0.0	59.8	36.4	3.8	0.0
		中1②	132	77.3	18.9	2.3	1.5	78.8	19.7	0.8	0.8	43.2	49.2	7.6	0.0	40.2	54.5	3.8	1.5
		中2①	127	66.1	28.3	4.7	0.8	70.9	23.6	4.7	0.8	46.5	49.6	3.1	0.8	45.7	45.7	8.7	0.0
	1	小6①	109	68.8	25.7	4.6	0.9	77.1	21.1	0.9	0.9	47.7	45.9	3.7	2.8	54.1	36.7	7.3	1.9
小6②		110	66.4	28.2	3.6	1.8	74.5	24.5	0.9	0.0	56.4	39.1	2.7	1.8	58.2	37.3	4.5	0.0	
中1①		104	65.4	30.8	3.8	0.0	66.3	28.8	4.8	0.0	46.2	41.3	11.5	1.0	49.0	45.2	5.8	0.0	
小学校	高学年計	前年①	210	64.3	29.5	5.2	1.0	80.5	17.1	1.9	0.5	47.6	44.8	5.7	1.9	57.1	34.8	6.7	1.4
		前年②	212	66.5	28.3	3.3	1.9	72.2	25.5	2.4	0.0	51.4	43.4	3.3	1.9	52.8	42.5	4.7	0.0
		本年①	239	57.3	32.6	7.1	2.9	67.4	27.6	5.0	0.0	42.7	46.9	10.0	0.4	55.2	41.0	2.5	1.3
	6	小5①	101	59.4	33.7	5.9	1.0	84.2	12.9	2.9	0.0	47.5	43.6	7.9	1.0	60.4	32.7	5.9	1.0
		小5②	102	66.7	28.4	2.9	2.0	69.6	26.5	3.9	0.0	46.1	48.0	3.9	2.0	47.1	48.0	4.9	0.0
		小6①	104	62.5	30.8	4.8	1.9	72.1	24.0	3.8	0.0	41.3	47.1	11.5	0.0	57.7	39.4	2.9	0.0
	5	小5①	135	53.3	34.1	8.9	3.7	63.7	30.4	5.9	0.0	43.7	46.7	8.9	0.7	53.3	42.2	2.2	2.2

学校種	学年等	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押しされたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押ししたりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	374	97.6	1.6	0.5	0.3	90.4	7.0	1.1	1.6	96.0	3.5	0.0	0.5	94.9	4.8	0.3	0.0
	3年	143	99.3	0.7	0.0	0.0	93.0	5.6	0.0	1.4	99.3	0.0	0.0	0.7	95.8	4.2	0.0	0.0
	2年	127	99.2	0.8	0.0	0.0	90.6	8.7	0.8	0.0	96.1	3.9	0.0	0.0	96.1	3.9	0.0	0.0
	1年	104	93.3	3.8	1.9	1.0	86.5	6.7	2.9	3.8	91.3	7.7	0.0	1.0	92.3	6.7	1.0	0.0
小学校	高学年計	239	74.5	18.4	2.1	5.0	64.9	23.8	6.3	5.0	78.2	17.6	2.5	1.7	77.0	18.8	2.5	1.7
	6年	104	78.8	19.2	1.0	1.0	66.3	27.9	1.9	3.8	75.0	20.2	3.8	1.0	74.0	21.2	4.8	0.0
	5年	135	71.1	17.8	3.0	8.1	63.7	20.7	9.6	5.9	80.7	15.6	1.5	2.2	79.3	17.0	0.7	3.0

※小学校は連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施

※「オ」～「ク」の項目の調査は平成25年度から実施

3 課題・目標・取組

課題	人間関係づくりが苦手で、学習や授業に対する不安をもち、主体的に考え自分の意見を表現することが不得手な児童生徒が多い。
目標	学びに向かう集団づくりと授業における学習活動の相互の関連を図り、主体的に学習に取り組む児童生徒を育てる。
取組	①学びに向かう集団づくりと、分かる授業の工夫 ②児童会(生徒会)活動を中心とした体験活動の充実による発達課題の達成

4 意識調査結果の分析

(1) 好ましいと思われる事項

小・中 共通	<ul style="list-style-type: none"> 「学校が楽しい」と回答している児童生徒が9割に達している。 「授業がよくわかる」と回答した児童生徒が前回は上回っている。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> 「授業に主体的に取り組んでいる」2年と「授業がよくわかる」3年で、肯定的な回答が前回は上回っている。 「いじめに関する事項」では4項目とも「全くなかった」と回答した生徒が9割以上であった。
小学校	<ul style="list-style-type: none"> 「授業がよくわかる」と回答した児童が前回は上回っている。 「みんなで何かをするのは楽しい」6年で、「当てはまる」と回答した児童が前回は約23%上回った。(A小学校)

(2) 好ましくないと思われる事項

小・中 共通	<ul style="list-style-type: none"> 「授業に主体的に取り組んでいる」で「当てはまる」と回答した児童生徒が50%に満たない。 「いじめに関する事項」では、学年が下がるにつれて良い回答は得られなかった。
中学校	「授業に主体的に取り組んでいる」1年で、「当てはまる」が前回は10.2%下回っている。
小学校	「授業に主体的に取り組んでいる」6年で、「当てはまる」が27.3%であり3割に満たない学校がある。

5 取組事項

小・中共通	①集団づくりや分かる授業への取組 ②児童生徒が生き生きと取り組む児童会（生徒会）活動の充実
中学校	①生徒主体の活動を増やし、居場所づくりを推進する ②職場体験や生き方講話、地域行事やボランティア活動への積極的な参加
小学校	①規範意識の高い学級づくりと学び合いのある授業づくり（全校） ②縦割り班活動や地域の子ども会行事への積極的な参加（全校）

6 取組内容

（1）事業実施計画書に記載した月別実施内容

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	第1回推進委員会・研究部会 通学班集会（全小・全学年） 縦割り班清掃（全小・全学年） 教育課程特例校による外国語活動の実施（全小・全学年） 新入生への支援（全小・6年）	○ ○ ○ ○ ◇	第1回推進委員会・研究部会 第1回小・中連絡協議会 第1回連絡協議会参加（小・中） あいさつ運動 （通年・全学年）【小中合同】 体力づくりの推進 （通年・全学年）【小中合同】 対面式（全学年） 創立記念集会（生き方講話①） （全学年） 生徒総会（全学年）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ◇
5月	第1回意識調査（全小・5、6年） ふれあい活動（益子小・全学年） 生活科・社会科校外学習 （全小・全学年） みどりの少年団集会 （益子小・全学年） ワークショップ （益子西小・全学年） 創立記念集会（益子小・全学年）	○ △ ○ ○ ○ ○ ○	第1回魅力ある学校づくり調査研究委員会（6月実施） 第1回意識調査（全学年） 第1回道徳公開授業（全学年） 大縄跳び大会（全学年） 児童・生徒指導推進中央研修会（県教育委員会主催）での発表	△ ○ ○ ○ ○ ○
6月	読み聞かせ（全小・全学年） 創立記念集会 （益子西小・全学年） あいさつ強化週間 （全小・全学年） 海浜自然教室（全小・5年） 【小・小交流活動】 道徳公開授業 （益子西小・全学年）	○ ○ × ○ ○ ◇	第2回推進委員会・研究部会 第2回小・中連絡協議会 第1回講演会 【小中合同】（教職員対象） 第1回小・中授業研究会 （中学校主催） 修学旅行（体験活動・3年） マイ・チャレンジ （職場体験学習・2年） 宿泊学習（自然体験学習・1年） クリーン作戦（全学年） 県教委・町教委等の訪問	○ ○ ○ ○ ○ ◇ ○ ○ △ ○

7月	児童支援活動（学習支援活動） （益子小・全学年） ふれあい夏祭り （益子小・全学年） 道徳公開授業（益子小・全学年）	○ △ ◇	河川清掃ボランティア （全学年） 地域夏祭りへの参加（全学年） 第3回推進委員会・研究部会 運動会実行委員会（全学年） 「授業の約束」強調週間 （全学年）	○ ○ ○ ◇ ◇
8月			親子奉仕作業【小中合同】 第2回魅力ある学校づくり調査研究委員会 第2回講演会 【小中合同】（教職員対象） 町主催の福祉祭りへの参加 （全学年）	○ ○ ○ ○
9月	運動会（全小・全学年） 国際理解集会（益子小・全学年）		運動会（全学年） 運動会への6年生招待 （全小・6年希望者） 第2回小・中授業研究会 （中学校主催） 学校祭実行委員会（全学年）	
10月	学習発表会（益子西小・全学年） 高齢者ふれあい活動 （益子西小・全学年） ふれあい活動（全小・全学年） ※異学年集団の交流活動 校内授業研究会（全小・全学年）		第4回推進委員会・研究部会 第3回小・中連絡協議会 部活動体験週間 学校祭（全学年） 学校祭への6年生招待 （全小・6年希望者） 学校祭への高齢者招待 （全学年）【小中合同】 東部地区ブロック協議会参加〔茨城〕	
11月	学習発表会（益子小・全学年） お楽しみ給食（全小・全学年） 児童支援活動（益子小・全学年） 校内授業研究会（全小・全学年）		第3回魅力ある学校づくり調査研究委員会 第2回道徳公開授業（全学年）	
12月	第2回意識調査（全小・5、6年）		第2回意識調査（全学年） 第5回推進委員会・研究部会	
1月	世代間交流事業（益子西小・1、2年） 小・小交流活動（全小・6年）		第6回推進委員会・研究部会 第4回小・中連絡協議会 入学説明会（授業公開・部活動見学）	
2月	第3回小・中授業研究会（小学校主催） 校内授業研究会（全小・全学年）		第2回連絡協議会参加 立志式（生き方講話②）（1、2年） 3年生を送る会（全学年）	
3月	6年生を送る会（全小・全学年）		第7回推進委員会・研究部会 第5回小・中連絡協議会 新入生情報交換会 研究紀要・リーフレット作成	

(2) 8月末までに実施した具体的な取組

〔小・中共通〕

① 『学習規律の定着』

自信をもたせる授業づくり、コミュニケーション能力を育む授業づくりを推進し、分かる授業の工夫に取り組んだ。その基盤となる学習規律や学習習慣の定着を目指し、9年間を見通した「授業の約束」(小・中共通)を各教室に掲示して徹底した。また、学期末には強調週間を設け、自己評価によって取組状況を確認した。

〈授業の約束〉

始まり

・チャイムで授業を始めよう。

あいさつ

・大きな声であいさつをしよう。

発表

・「はい。」と大きな声で返事をして、起立して発表しよう。

・相手に伝わるように発表しよう。

聞く

・最後までしっかり聞こう。

② 『児童会(生徒会)活動の充実』

児童生徒が生き生きと取り組めるような児童会(生徒会)活動の充実を目指し、日頃の委員会活動に力を入れた。中学校では生徒の話し合いから様々な意見が出され、生徒主体の活動につながっている。小学校では、放送委員会の5・6年生が中心となり、給食時の校内放送の内容を検討し、原稿の作成を行った。



〔中学校〕

① 『スマイルデー・大縄跳び大会』

集団づくりの取組として、生徒に企画や運営を任せることで主体的な活動が増え、自ら居場所づくりの設定ができた。生徒が、事前に行事計画書を作成し、学級対抗の大縄跳び大会を実施した。昼休み等を利用して、学級が一丸となって練習に取り組み、成績上位の学級には賞状も手渡された。



② 『地域ボランティア活動』

地域社会の一員である自覚と将来の社会的自立を目指し、益子町内を流れる「百目鬼川」とその周辺の美化活動を行っている。年間を通して11回予定されており、地域に根ざした活動となっている。7月は手ぬぐい藍染め体験、8月には水生生物の調査実習(ホテルの飼育施設研修)を行い、生徒からは「地域の河川をきれいにしたい」などの声が聞かれた。



〔小学校〕

① 『学び合いのある授業』

授業の中で児童が活躍できる場を保障し、自信をもたせる授業を目指し、国語科の学習でグループ学習を取り入れた。教材文の文章から工夫されているところを見付け、グループ内で互いに発表し合うことで、気づきの共有ができた。
(益子西小)



② 『縦割り班活動』

異年齢集団の活動を充実させ自己有用感を高めることを目指して、1～6年生までの「縦割り班」をつくり、清掃活動を行っている。班長が清掃の仕方を指示したり、下級生の作業を手伝ったりする中で、発達の段階に応じた自分の役割や責任を認識することができた。(全校)



③ 『海浜自然教室』

小・小連携を目指した取組として、連携校が同期日に海浜自然教室を行った。3日間の活動の中で同じ活動プログラムを設定し、2つの小学校の児童が長縄跳びにチャレンジした。互いに協力し合いながら活動する様子が見られた。(全校)



7 8月末までの取組状況と課題（第1回意識調査結果を踏まえた内容を含む）

（1）順調に進んでいる事項

小・中共通	<p>①小・中共通の「授業の約束」が定着し、学級の規範意識が高まった。</p> <p>①互いに学び合う授業の中で一人一人の活躍の場を設定し、自信をもたせる授業の工夫が推進され、調査項目「授業がよくわかる」の数値が向上した。</p>
中学校	<p>①生徒が主体となった生徒会活動が充実し、生徒の居場所づくりができた。</p> <p>②地域ボランティア活動に参加する生徒が増え、調査項目「地域の行事やボランティア活動に進んで参加している」で、「当てはまる」の数値が向上した。</p>
小学校	<p>①授業中に話し合い活動を取り入れたことで、コミュニケーション能力が育成され、調査項目「授業がよくわかる」で数値が向上した。</p> <p>②縦割り班活動が充実し、上級生が自覚をもつことにより下級生の役割分担が明確になった。基本的な生活習慣が確立し、調査項目「生活のきまりや学習のきまりを守っている」で「当てはまる」の数値が向上した。</p>

(2) 課題となっている事項

小・中共通	①調査項目「授業がよくわかる」は前回より数値が向上しているが、「授業に主体的に取り組んでいる」で「当てはまる」と回答している割合が半数に満たない。導入や自ら学びに向かう場の工夫が必要である。 ②目的意識をもって生き生きと取り組む活動が不十分で、調査項目「学校が楽しい」で「当てはまる」と回答した児童生徒が減少している。
中学校	①生徒会活動が活性化され積極的に活動するようになったが、それぞれの活動ごとの連絡調整が不足している。
小学校	②地域の行事やボランティア活動への啓発が不十分であり、調査項目「地域の行事やボランティア活動に進んで参加している」で意識の高揚が見られなかった。

8 9月以降の重点推進事項

小・中共通	・児童生徒一人一人が主体的に取り組めるよう、授業における導入の工夫など授業づくりの改善を図る。 ・個に応じた課題を設定し、達成感や成就感を体験させるような活動の場面を確保する。
中学校	・生徒会活動がより充実するよう、連絡調整を行う手だてを工夫し、居がいのある集団づくりを推進する。
小学校	・地域との交流活動や小・中交流活動への積極的な参加を促し、児童の主体性を育成する。

9 教育委員会の取組

(1) 市町村教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・魅力ある学校づくり調査研究委員会や小・中連絡協議会へ参加をし、また、事業担当者との打ち合わせを密にして、取組状況を確認し課題解決の支援をしていく。
- ・学校からの要望に対する体制づくりの支援をしたり、関係施設との日程調整をしたりするなど小・小連携の支援を行う。

〔成果と課題〕

- 取組の過程で出てきた課題を解決するため、「人間関係づくり（社会的なスキルのトレーニング等）」・「学業指導について」の講演会開催の支援を行い、研修の推進が図られた。
- 小・中連絡協議会・海浜自然教室の日程調整等の支援を通して、小・小連携、小・中連携が図られた。
- 第1回小・中授業研究会への参加ができず、取組状況の把握が不十分であった。今後、2回の授業研究会への参加を通して、取組状況の把握と課題の解決に向けての支援に努めていきたい。

(2) 都道府県教育委員会

〔重点推進事項〕

- ・町教育委員会との連携を密に図りながら、中学校区からの要請に的確に対応できるよう、体制を整え支援する。
- ・益子中学区の事業担当者を本県児童・生徒指導推進委員会の委員に委嘱し、年3回の委員会を通して、学業指導の充実の観点から取組を支援する。また、県内生徒指導担当者悉皆の中央研修会において、成果発表を行い、県下への周知と推進を図る。

〔成果と課題〕

- 県内生徒指導担当者悉皆の中央研修会において、成果発表を行い、県下への周知を行うことができた。また、参加者のアンケート結果からは、実践事例に対する高い評価を受けるとともに、自校で学業指導を推進する上で大いに参考になった等の感想が多く見られた。
- 本県教育委員会において作成中の「学業指導」指導事例集に、益子中学区を取組を掲載することによって、さらに、県下への周知を行い、本事業の推進・充実を図る。
- 2年目の前期の成果と課題を把握・分析し、今後も町教育委員会との連携を密に図りながら、中学校区の要請に的確に対応できる体制を整える。

10 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。）

【問い合わせ先】

所属	栃木県教育委員会学校教育課		電話	028-623-3359	
職名	指導主事	氏名	福田 誉	よみがな	ふくだ ほまれ